

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

新型コロナウイルスワクチン⑤

～モデルナ社製のワクチンの使用がはじまりました～



5/20に新たにモデルナ社製のワクチンが承認され、国内での使用が許可されました。モデルナ社製のワクチンは、ファイザー社製と同じmRNAワクチンですが、接種間隔と対象年齢に違いがあります(表1)。また、海外での臨床試験の結果では、両ワクチンとも概ね同じような副反応がみられます。ファイザー社製では疲労感、モデルナ社製では筋肉痛、関節痛、嘔吐が他社製剤より高い傾向でした(表2)。

(表1)

特徴	ファイザー社製	モデルナ社製
商品名	コミナティ筋注	COVID-19 ワクチン モデルナ筋注
種類	mRNAワクチン	
接種回数	3週間隔で2回 1回0.3ml 筋肉注射	4週間隔で2回 1回0.5ml 筋肉注射
接種対象年齢	12歳以上*	18歳以上
有効率	95%	94.1%



*:ファイザー社製ワクチンの接種対象年齢が16歳以上から12歳以上に改められました。12歳から15歳については、保護者の同意署名がなければ受けられません。

(表2)

海外臨床試験での安全性 (2回目接種後7日間における副反応を集計)	ファイザー社製 (4108人中)	モデルナ社製 (14677人中)
局所反応 (全体)	84.7%	88.6%
注射部位疼痛	84.1%	88.2%
発赤	9.5%	8.6%
腫脹	10.5%	12.2%
全身反応 (全体)	77.4%	79.4%
発熱 (38℃以上)	14.2%	15.5%
疲労	62.9%	27.3%
頭痛	55.1%	58.6%
筋肉痛	38.3%	58.0%
関節痛	23.6%	42.8%
嘔吐	2.0%	19.0%

疼痛や発熱には、できればアセトアミノフェンを服用します。詳しくは、医師・薬剤師へご相談ください。

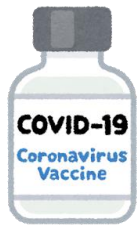
アストロゼネカ社製のウイルスベクターワクチンも5/20に厚労省より承認されました。

アストラゼネカ社製のワクチンについては、国内では当面は使わない方針。台湾に124万回分の



ワクチンの無償提供をするなど、国際的な協力のために使われます。

(静岡新聞令和3年6月4日夕刊)



2/17～5/30までに報告された 副反応の集計結果（国内・厚労省発表）



国内では、2/17から医療従事者、4/12から高齢者を対象に、接種が行われています。

6/10現在、医療従事者は、約896万回（1回目ファイザー約514万回、モデルナ約9000回、2回目ファイザー約381万回）、高齢者は、約1245万回（1回目ファイザー約1045万回、モデルナ約34万回、2回目ファイザー約166万回）。

5/30までの副反応が集計されました。ワクチン接種後の死亡とアナフィラキシーの事例についてお伝えします。

死亡事例は191件

年齢	男性	女性
～39歳	5件	2件
40歳～64歳	7件	14件
65歳～	74件	89件

報告された死因として多いものは、心臓障害68例、脳血管障害38例、感染症17例でした。

すべて『情報不足等によりワクチンとの因果関係は評価できないもの』または『評価中』とされています。

アナフィラキシーは169件

年齢	報告件数		
	全体	男性	女性
0～9歳	0件	0件	0件
10～19歳	0件	0件	0件
20～29歳	23件	3件	20件
30～39歳	46件	7件	39件
40～49歳	58件	0件	58件
50歳～59歳	36件	2件	34件
60～69歳	6件	0件	6件
70～79歳	0件	0件	0件
80歳以上	0件	0件	0件
合計	169件	12件	157件
（参考）65歳以上	1件	0件	1件

女性で多く、高齢者では起こりにくい傾向がうかがえます。



5月には1日40～50万回の接種が行われ、6月に入ると1日60～70万回に増え、政府は1日100万回を目標にしており、接種が加速化しています。それと同時に、副反応の発生が増えてくることも心配されます。変異株の感染の動きも心配です。ワクチン接種を済ませた人もそうでない人も、3密を避け、これまで通りの感染対策を心がけていきましょう。

参考資料：厚生労働省ホームページ
文責：みかん薬局 内山伊久江